

2024年8月期 第2四半期 決算説明会資料

株式会社エヌ・ピー・シー（グロース：6255）2024年4月12日



INDEX

1. 2024年8月期 第2四半期決算概要
2. 2024年8月期 通期業績予想の修正
3. 当社の取り組み

2024年8月期 第2四半期決算概要

Copyright © 2024 NPC Incorporated. All rights reserved.

2

2024年8月期 第2四半期決算概要 連結損益計算書



(単位：百万円)

	2023年8月期 第2四半期		2024年8月期 第2四半期					
	実績		期初予想 (2023.10.11発表)		実績			
	金額	百分比 (%)	金額	百分比 (%)	金額	百分比 (%)	前期比 (%)	期初予想比 (%)
売上高	4,241	100.0	3,329	100.0	3,506	100.0	△17.3	5.3
売上総利益	690	16.3	877	26.3	1,173	33.5	70.0	33.8
販売管理費	466	11.0	514	15.4	516	14.7	10.7	0.4
営業利益	224	5.3	363	10.9	656	18.7	192.9	80.7
営業外収益	7	0.2	1	0.0	8	0.2	14.3	700.0
営業外費用	1	0.0	2	0.1	1	0.0	0.0	△50.0
経常利益	230	5.4	363	10.9	662	18.9	187.8	82.4
特別利益	-	-	-	-	-	-	-	-
特別損失	-	-	-	-	-	-	-	-
税引前当期純利益	230	5.4	363	10.9	662	18.9	187.8	82.4
親会社株主に帰属する当期純利益	182	4.3	250	7.5	484	13.8	165.9	93.6

(注) 前期比及び期初予想比はその増減比です。

Copyright © 2024 NPC Incorporated. All rights reserved.

3

2024年8月期 第2四半期決算概要 期初予想と実績の差異の説明

売上高

期初予想よりやや上振れ

- ・太陽電池製造装置における大型案件を予定どおり売上計上
- ・部品販売が見込みを上回った（予算比：約170百万円増）

売上総利益

売上総利益率が期初予想より7.2ポイント向上（予想26.3%→実績33.5%）

- ・仕入コストの低減や現地作業の効率化により原価低減
- ・好調な部品販売により利益率が向上

販売費及び一般管理費

科目による増減はあるが全体としてほぼ予想どおり

- ・増加要因：賞与引当金繰入額
- ・減少要因：給与手当（人員計画に対するズレ）、研究開発費（試作品の調達遅れ）、旅費交通費

営業利益・経常利益・親会社株主に帰属する当期純利益

増収及び利益率の向上により各段階利益で予想よりも大きく上振れ

2024年8月期 第2四半期決算概要 装置関連事業

（単位：百万円）

	2023年8月期 第2四半期		2024年8月期 第2四半期					
	実績		期初予想 (2023.10.11発表)		実績			
	金額	百分比(%)	金額	百分比(%)	金額	百分比(%)	前期比(%)	期初予想比(%)
売上高	3,996	100.0	3,128	100.0	3,329	100.0	△16.7	6.4
売上総利益	634	15.9	831	26.6	1,131	34.0	78.4	36.1
販売管理費	123	3.1	145	4.6	135	4.1	9.8	△6.9
営業利益	511	12.8	686	21.9	995	29.9	94.7	45.0

（注）上記表中に含まれない全社費用が存在します。また、前期比及び期初予想比はその増減比です。

■売上高

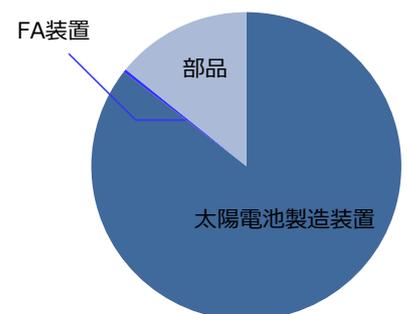
First Solar社との取引がメインだった

- ・オハイオ工場の増設装置（No.6.5）を売上計上した
- ・既設ラインの改造・アップグレードを実施した
- ・工場稼働率が高く装置台数も増えており部品販売が好調だった

■売上総利益

原価低減、部品の売上増により高い利益率を確保

売上高の内訳



2024年8月期 第2四半期決算概要 環境関連事業

(単位：百万円)

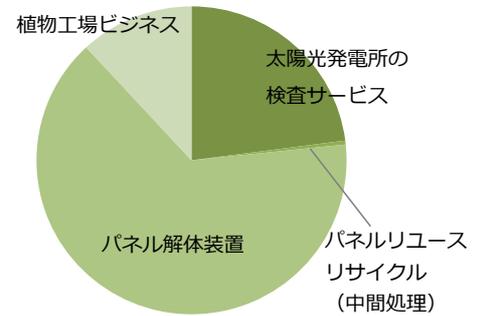
	2023年8月期 第2四半期		2024年8月期 第2四半期					
	実績		期初予想 (2023.10.11発表)		実績			
	金額	百分比(%)	金額	百分比(%)	金額	百分比(%)	前期比(%)	期初予想比(%)
売上高	245	100.0	200	100.0	176	100.0	△28.2	△12.0
売上総利益	55	22.4	46	23.0	41	23.3	△25.5	△10.9
販売管理費	32	13.1	33	16.5	38	21.6	18.8	15.2
営業利益	23	9.4	12	6.0	3	1.7	△87.0	△75.0

(注) 上記表中に含まれない全社費用が存在します。また、前期比及び期初予想比はその増減比です。

■売上高

- ・太陽光発電所の検査サービスでは主に既存顧客と継続的に取引
- ・パネル解体装置のフレーム除去装置を国内3社に売上げ
海外向けで客先都合により下期へ期ズレが発生
- ・パネルリユースおよびリサイクルは予定通りであったが低調
- ・植物工場ビジネスはフル生産で生産分をほぼ全て販売

売上高の内訳



■売上総利益

利益率は予想どおりだが、売上高未達により減収

2024年8月期 第2四半期決算概要 受注高・受注残高

(単位：百万円)

	2023年8月期 第2四半期		2024年8月期 第2四半期			
	受注高	受注残高	受注高	前期比(%)	受注残高	前期比(%)
装置関連事業	8,057	12,005	6,777	△15.9	13,401	11.6
環境関連事業	261	500	324	24.1	469	△6.2
合計	8,318	12,506	7,102	14.6	13,870	10.9

(注) 前期比はその増減比です。

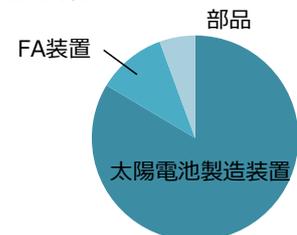
装置関連事業

来期に向けて受注は堅調

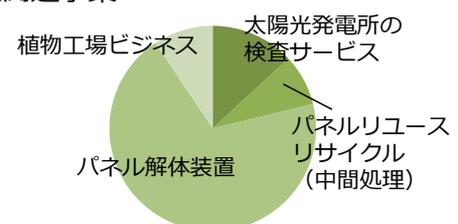
- ・First Solar社のレイジアナ新工場 (No.9) 向け太陽電池製造装置
- ・First Solar社の既設ライン (No.6, 7, 8) 向け追加装置
- ・国内電子部品関連顧客の新工場向けFA装置をFY2023予定から遅れて受注
- ・国内太陽電池メーカーからの改造案件
- ・自動車業界向けFA装置を国内及び米国の既存顧客から受注

受注高の内訳

装置関連事業



環境関連事業



環境関連事業

- ・検査サービス、植物工場は既存顧客から安定的に受注
- ・パネル解体装置の受注は順調
パネル解体ライン 2ライン (チェコ、日本)
フレーム除去装置 2セット (フランス、日本)

2024年8月期 第2四半期決算概要 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	2023.8末	2024.2末		2023.8末	2024.2末
資産	13,611	14,177	負債	5,537	5,711
流動資産	9,963	10,623	流動負債	5,463	5,632
現預金	4,880	4,662	買掛金・電子記録債務	2,445	1,797
受取手形・売掛金・電子記録債権	1,262	1,159	前受金	2,474	3,305
仕掛品	3,578	4,452	引当金	155	147
原材料・貯蔵品	11	23	その他	389	383
その他	232	325	固定負債	73	79
固定資産	3,647	3,553	純資産	8,074	8,465
建物・構築物（純額）	1,630	1,552	資本金・資本剰余金	5,547	5,550
土地	1,548	1,548	利益剰余金	2,739	3,095
その他	469	453	自己株式	△320	△306
			その他	108	126

変動要因、健全性

- ・事業が拡大していることで総資産は高水準を維持
- ・下期の売上計上に向けて生産が進んでおり仕掛品が増加中
- ・受注した案件においては前受金をしっかり確保
- ・自己資本比率：59.7%

Copyright © 2024 NPC Incorporated. All rights reserved.

8

2024年8月期 通期業績予想の修正

Copyright © 2024 NPC Incorporated. All rights reserved.

9

2024年8月期 通期業績予想の修正 連結損益計算書

(単位：百万円)

	2023年8月期 通期		2024年8月期 通期					
	実績		期初予想 (2023.10.11発表)		修正予想 (2024.4.10発表)			
	金額	百分比 (%)	金額	百分比 (%)	金額	百分比 (%)	前期比 (%)	期初予想比 (%)
売上高	9,320	100.0	10,384	100.0	10,995	100.0	18.0	5.9
売上総利益	1,944	20.9	2,615	25.2	3,270	29.7	68.2	25.0
販売管理費	967	10.4	1,030	9.9	1,121	10.2	15.9	8.8
営業利益	976	10.5	1,584	15.3	2,149	19.5	120.2	35.7
営業外収益	6	0.1	3	0.0	10	0.1	66.7	233.3
営業外費用	20	0.2	4	0.0	3	0.0	△85.0	△25.0
経常利益	963	10.3	1,584	15.3	2,155	19.6	123.8	36.0
特別利益	-	-	-	-	-	-	-	-
特別損失	-	-	-	-	-	-	-	-
税引前当期純利益	963	10.3	1,584	15.3	2,155	19.6	123.8	36.0
親会社株主に帰属する 当期純利益	993	10.7	1,081	10.4	1,471	13.4	48.1	36.1

(注) 前期比及び期初予想比はその増減比です。

Copyright © 2024 NPC Incorporated. All rights reserved.

10

2024年8月期 通期業績予想の修正 概要

売上高

10,384百万円→10,995百万円

- ・下期の売上案件は部品販売を除いてほぼ受注済み
- ・客先の要望により、国内電子部品業界向けFA装置の一部がFY2025から前倒しとなる
- ・部品が好調で前期とほぼ同額となる757百万円を見込む
- ・第4四半期会計期間にFirst Solar社のアラバマ新工場（No.8）向け装置を予定

売上総利益

2,615百万円→3,270百万円、売上総利益率：25.2%→29.7%

- ・増収に伴う利益の増加
- ・仕入コストや現地作業による原価低減、部品の売上増加で利益率が向上

販売費及び一般管理費

1,030百万円→1,121百万円

- ・利益拡大に伴い、賞与引当金を積み増し
- ・福利厚生費、研究開発費、支払手数料などが増加見込み

営業利益・経常利益・親会社株主に帰属する当期純利益

販売費及び一般管理費が増加するものの、売上総利益の増加で大きく上振れる
親会社株主に帰属する当期純利益：1,081百万円→1,471百万円（**390百万円増**）

Copyright © 2024 NPC Incorporated. All rights reserved.

11

当社の取り組み

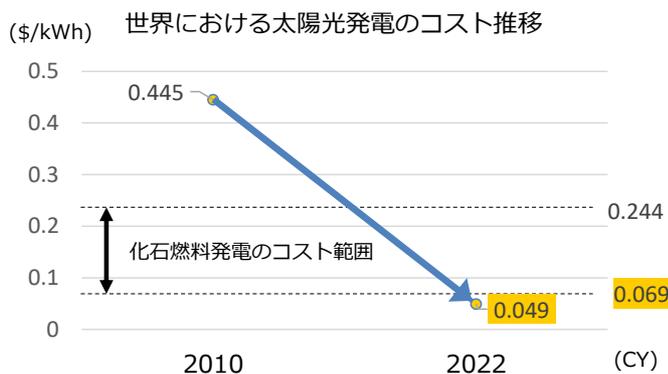
装置関連事業：

① 太陽電池製造装置（太陽電池市場）

世界における太陽光発電の発電コスト

- ・ 太陽光発電のコストは直近12年で大幅に減少
- ・ 2022年時点で化石燃料の最低**\$0.069/kWh**に対し、太陽光発電**\$0.049/kWh**と化石燃料のコストを下回る

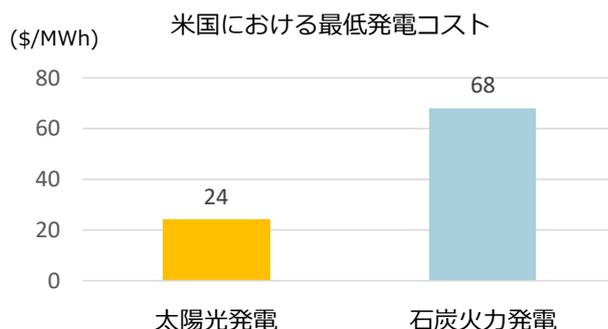
出典/IRENA. 「Renewable power generation costs in 2022」.(2023)



米国における太陽光発電の発電コスト

- ・ 米国では大規模太陽光発電の発電コスト（補助金を含まない）は最低**\$24/MWh (\$ 0.024/kWh)**
- ・ 一方、石炭火力発電は最低**\$68/MWh (\$ 0.068/kWh)**

出典/LAZARD. 「2023 Levelized Cost of Energy+」.(2023)



装置関連事業：

① 太陽電池製造装置（太陽電池市場）

米国における連邦以外での太陽光発電に関する取り組み

- ・ 12の州と3つの地域（※）が2050年までに**クリーンエネルギーの利用を100%**にすることを法制化（うち5つの州と地域は再生可能エネルギー利用100%を法制化）
- ・ 多くの米国大企業が太陽光発電所への出資や保有、自社物件屋上への太陽光パネル設置等を実施

※再エネ100%：ハワイ、ロードアイランド、ワシントンDC、グアム、プエルトリコ

クリーンエネルギー100%：カリフォルニア、コネチカット、イリノイ、メイン、ミシガン、ミネソタ、ネバダ、ニューメキシコ、ニューヨーク、オレゴン、バージニア、ワシントン

メタ社

2025年までに、米国にてメタ社が支援する86の風力と太陽光発電プロジェクトを稼働し、9.8GWの再生可能エネルギーを24州のローカルグリッドに供給する

コストコホールセール社

100以上のオンサイトの太陽光発電システムを所有、稼働し、今後も拡大を検討している

出典/Meta. 「Energy」.
出典/Environment + Energy Leader 「Costco Is Cutting Its CO2 Footprint By Greening Its Energy Supply and Using Energy Efficiency」.
出典/National Conference of State Legislatures 「State Renewable Portfolio Standards and Goals」.
出典/Environment America 「States can lead the way toward a future powered by 100% clean, renewable energy」.



マウイ島のコストコ 太陽光パネルを使用したカーポート

Copyright © 2024 NPC Incorporated. All rights reserved.

14

装置関連事業：

① 太陽電池製造装置（First Solarの状況）



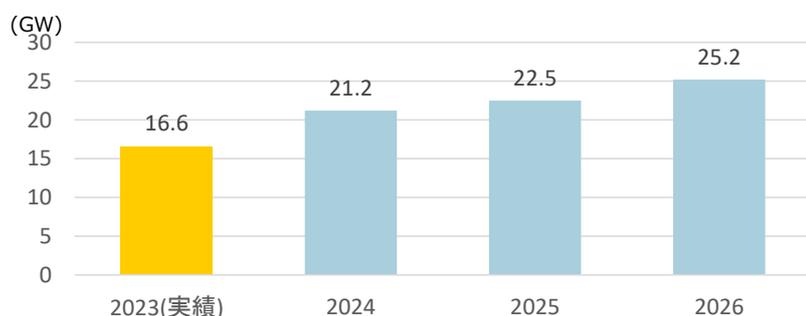
First Solarの状況

	2022	2023	2024E
売上高（億ドル）	26.0	33.0	44.0~46.0
営業利益（億ドル）	△0.2	8.5	15.0~16.0
出荷量（GW）	9.3	14.5	15.6~16.3

受注残高 **80.1 GW**
交渉中 **66.5 GW**
計 **146.6 GW**

First Solarの設備投資について

First Solarの生産能力計画



ルイジアナ新工場（No.9）の掘入れ式の様子

出典/First Solar. 「First Solar Q4'23 Earnings and 2024 Guidance Call」.(2024)

出典/First Solar. 「First Solar Breaks Ground on \$1.1 Billion, 3.5 GW Louisiana Manufacturing Facility」.

Copyright © 2024 NPC Incorporated. All rights reserved.

15

装置関連事業：

①太陽電池製造装置（First Solarと当社の取引）

■新規装置（新工場向け装置、研究開発用装置）

対象工場	場所	生産能力（GW）	稼働	取引状況
0-5（既設）	オハイオ、マレーシア、ベトナム	9.8	稼働中	売上済 改造・増設継続
6（既設）	オハイオ	3.3	稼働中	売上済（FY2023 2Q）
7（既設）	インド	3.3	稼働中	売上済（FY2023 4Q）
6.5（増設）	オハイオ	0.9	2024年	売上済（FY2024 2Q）
8	アラバマ	3.5	2024年	受注済（FY2023 1Q） 売上予定（FY2024 4Q）
R&Dセンター	オハイオ	シリコン結晶タンデム 開発装置	2024年	受注済（FY2023 2Q） 売上予定（FY2024 3Q）
R&Dセンター	オハイオ	ペロブスカイト開発装 置	2025年	受注済（FY2023 4Q） 売上予定（FY2025 上期）
9	ルイジアナ	3.5	2026年	受注済（FY2024 1Q） 売上予定（FY2025 下期）

■既設装置の改造・アップグレード

- ・製品のデザイン変更に伴う既設装置の改造や、工程の自動化や検査工程を追加して歩留まり向上を図る等の既設装置アップグレードを全工場で継続的に実施している

■部品販売

- ・消耗部品や装置の予備部品としての取引
- ・工場稼働率が高いことや、設置されている装置や改造・アップグレードが増えるに従って取引量も増加傾向にあり
FY2022：454百万円 FY2023：746百万円 FY2024（予想）：757百万円

Copyright © 2024 NPC Incorporated. All rights reserved.

16

装置関連事業：

①太陽電池製造装置（ペロブスカイト）



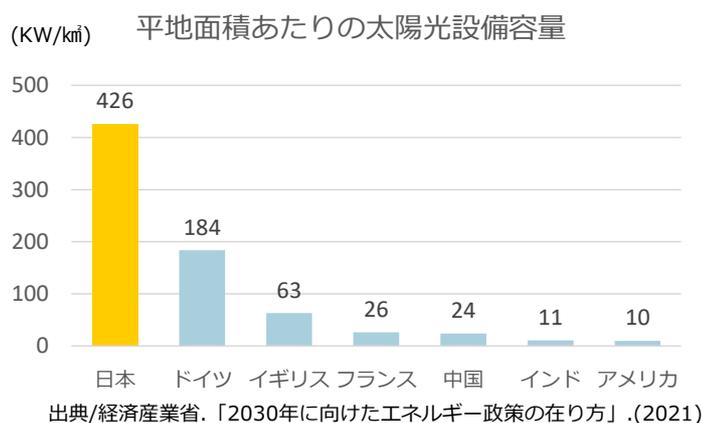
ペロブスカイトに対する需要と今後の見込み

【需要の背景】

- ・日本は平地が少なく、**設置場所の確保**が必要
- ・他国へ依存しない**ヨウ素の活用**
- ・岸田首相が「2025年に実用化を目指す」と発表、
開発事業予算は648億円

【今後の見込み】

- ・**耐久年数**の課題解決
→積水化学工業株式会社が2025年までに
20年相当の耐久性を実現する方針
- ・**量産計画**について
→積水化学工業株式会社は2030年までに年数十万
平方メートル量産の方針、2年以内に生産量を明確化



出典/日本経済新聞、「積水化学の加藤社長、曲がる太陽電池『2年で投資判断』」
出典/ニュースイッチ、「『ペロブスカイト太陽電池』耐久20年実現へ、積水化学が2025年事業化」

当社の取り組み

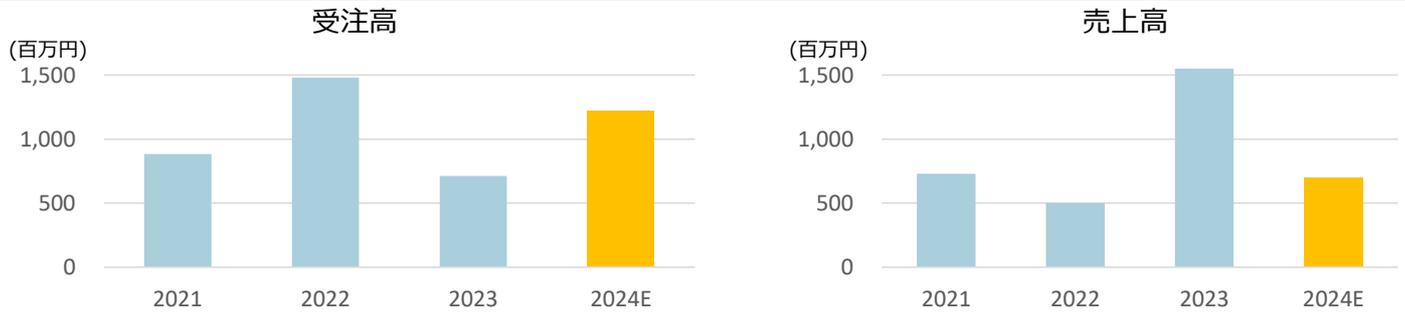
- ・薄膜系太陽電池の製造装置で培った実績が活用できることが強み
（電極形成工程、シート積層工程、貼り合せ工程等）
- ・First Solar社もM&Aによりペロブスカイトの研究を進めており装置を受注済み
- ・国内の複数社から合計で数億円規模の受注を獲得済み

Copyright © 2024 NPC Incorporated. All rights reserved.

17

② FA装置

FA装置の状況



半導体市場の影響により国内電子部品関連顧客の新工場向け装置がFY2023受注予定からFY2024へ遅れたことでFY2024の売上高は減少、FY2025以降には回復見込み

米国市場における状況

【市場環境】

- ・米国では人件費等の問題で自動化装置に対する需要が強い
- ・ローカルメーカーに対してコストとカスタマーサポートで対抗

【当社の対応】

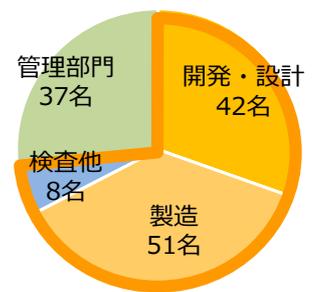
- ・ミシガン子会社から主に自動車関連企業への営業を強化
- ・松山工場から技術者を派遣して営業サポート



③ 生産体制及び生産状況（松山工場）



連結社員の内訳（2023年8月末時点）



約3/4が技術職として勤務

■ 生産体制

セル生産方式で装置を製造しているため、組立工程を協力企業に外注することが可能
受注量に応じてフレキシブルな生産体制を取ることができる

- ・継続的に取引している主要な協力企業は3社、その他にも多数の協力企業あり
- ・協力企業で組み立てた装置は松山工場最終調整して出荷（直接客先へ出荷するケースもある）

■ 人員体制

- ・装置製造で組立や配線を担当する技術者は51名
- ・42名の設計者（メカ・電気・ソフト）が在籍しており、設計者は今後も増強予定

環境関連事業：

①パネル解体装置

アルミフレーム・J-Box除去装置

アルミフレーム・J-Box除去装置について

- ・リサイクルしやすいアルミフレームとJ-Box（銅線）を除去する半自動の装置
- ・太陽光発電所の現場で解体作業をすることを想定してコンパクトで電気だけで動くポータブルな装置を開発
- ・国内5社、海外2社で導入済み
（さらに国内1社、海外3社から受注済み）



（写真：内田工業株式会社（岡山県）提供）

パネル解体の移動式許可

当社の顧客である内田工業株式会社（岡山県）が、岡山県内において太陽光パネルで全国初の**移動式処理許可**を取得

- ・現場で解体作業をすることでトータル運送コストを低減
→解体したアルミ、銅線はそのまま金属再生工場へ
→フレームとJ-Boxを除去することでガラスの嵩が減り運搬量が増加
- ・実績ができたことで他県での許可にも繋がる

環境関連事業：

①パネル解体装置（欧州）

既存顧客の動向（Envie社 フランス）

■フランスにおける排出パネルの回収量

2023年（実績）：5,000トン
2024年（予想）：8,000～10,000トン

■Envie社の状況等

- ・2023年には当社のパネル解体装置で約1,500トンのパネルを処理
- ・パネル解体が事業として成り立っており、アルミフレーム除去装置も追加で導入予定（受注済み）
- ・当社の解体装置を使用して回収したガラスが再生ガラスの原料として使用され始めた
→当社の解体技術である「ホットナイフ分離法®」に対する評価が高まり装置販売のプラスになる
- ・欧州では実需として解体装置のニーズがありEnvie社で行われたデモには欧州各国から9社が参加



当社の解体装置を用いてEnvie社で処理されたパネル



デモンストレーションの様子

新規顧客の獲得

■Enviropol社（チェコ、新規顧客）

- ・チェコ最大手の産廃処理グループであるASEKOL GROUPの子会社
- ・E-Wasteとして太陽光パネルの解体に取り組む
- ・パネル解体ラインを受注済み（欧州での2番目の実績）



環境関連事業：

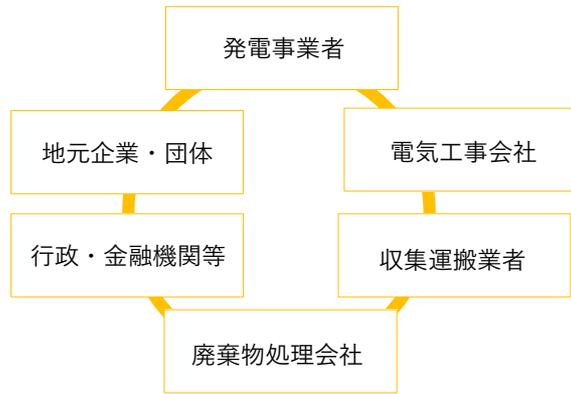
②太陽光パネルのリユース・リサイクル

松山市における太陽光パネルの適正処理のための取り組み

松山市のSDGs協議会において、当社提案により「太陽光発電設備の循環システム分科会」を設立
能動的な廃棄パネルの回収に取り組んでいる

【取り組み実績】

- ・リーフレットの配布による周知
- ・リユースパネル発電所の実証実験



地元自治体、大学、銀行、企業が積極的に参加し
まずは周知活動に取り組んでいる

太陽光パネルのリユース・リサイクル
資源再生で地球にやさしく！
適切な処分
お気軽に問合せください
回収運搬業者

適切な処分
リユース
このようなパネルも買取りました！
災害に遭った使用済みパネル
10年使用済みパネル

環境関連事業：

③検査サービス、植物工場、肥料化ビジネス

進捗概要

太陽光発電所検査サービス



- ・稼働率高く検査を実施
(直接作業率：92.1%)
- ・検査対象拡大に向けた検証中
(風力発電、バイオマス等)

植物工場ビジネス



- フル生産、フル販売を継続
- ・生産量：約62,400株/月
- ・地元スーパーを中心に販売

肥料化ビジネス



- 下記2社と食残のメタン発酵による肥料化の共同開発
- ・株式会社インターファーム
- ・住商アグリビジネス株式会社

IRメールマガジンのご案内

IRメールマガジンで当社の最新情報をお知らせしています

IRメールマガジン登録のメリット

-  適時開示があった場合、速やかに情報を入手することができます。
-  月1回配信している「NPC通信」では最新の市場動向等をお知らせします。
-  不定期で開催している工場見学会等をメルマガ登録者に優先的に早期案内します。

上記以外のお知らせも都度配信しています

■登録方法

- ①当社社員にお声がけ下さい。当社で登録作業を行います。
- ②以下のURLから必要事項を記入の上、ご登録作業をお願いします。

<https://www.npcgroup.net/ir/mail-magazine>



Copyright © 2024 NPC Incorporated. All rights reserved.

24

本日はありがとうございました

NPCグループは、「我々は、もの創りを通して、自然と社会と人間に必要とされる企業を目指します。」という企業方針に則り、たゆまぬ技術革新の努力により創り出す製品を通じ、地球環境、地域社会等に貢献して参ります。

IR問い合わせ窓口

株式会社エヌ・ピー・シー 総務部 IR担当

電話 : 03-6240-1206 FAX : 03-5817-8835
E-Mail : npc.ir@npcgroup.net

<将来見通し等に関する注意事項>

本資料につきましては投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。

本資料における、将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。また、将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。

また、業界等に関する記述につきましても、信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。

本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、お客様ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任を負いません。

Copyright © 2024 NPC Incorporated. All rights reserved.

25